

OBM MONTHLY

VOL. 293 9

大阪ビルメンテナンス協会マンスリー

大阪市西区江戸堀2丁目6番33号 江戸堀フコク生命ビル8F TEL.06-4256-5371 FAX.06-4256-5375 E-mail: osakabma@obm.or.jp

www.obm.or.jp



【不変的なイチオシと今月のイチオシ】

弊社は2020年7月1日に創業し、まだ4年2カ月しか経過していない若い企業ですが創業時に掲げた経営理念が弊社のイチオシであり、不変的なイチオシでもあります。

【3つの経営理念】

①利他の心を第一に優先します。
企業は営利団体であり、利益を出さないと経営は悪化します。その反面、利己的な利益を追い求めると忽ち信用は失われます。

弊社は利己的な利益を追求するのではなくお客様から頂いた対価を基に従業員への教育費やお客様のご要望にお応え出来る各種電動工具や資機材を購入しサービスの向上による利益の還元に努めています。決して利己的にならず、頂いた利益で商売をさせて頂いている感謝の志を忘れません。

②家族が働きたいと思える環境作りをおこないます。

以前に私が勤めていた企業の創業者が仰った言

葉であり、現在も弊社の指針を

考えるときにもこの志を基に意思決定しています。

他界しましたが私の父も創業

時よりこの企業に在職していましたが、叔父、従妹も複数名在職しています。幼少の頃、父に連れられて会社に立ち寄らせて頂き、会社の雰囲気心地よく、私も弊社の従業員の家族が働きたいと思つて貰える職場作りを従業員と共に作つてまいります。

③真心をもって業務に取り組みます。

人間は一人では生きていくことが出来ません。分かつていてもすぐに忘れてしまいます。人にも自分にも嘘をついてもいけませんし、傷をつけてもいけません。自分の為にも人の為にも努力を怠つてはいけません。人にも自分にも真心をもつて思いやりのある優しい気持ちを持つことが必要です。



【不変的なイチオシ】

弊社の経営理念は全ての人が気持ちよく接してもらえ意識作りであり、この経営理念を実践してくれている弊社従業員みんなが不変的なイチオシであります。

【今月のイチオシ】

せっかくの投稿させて頂く機会を頂きましたので、今月のイチオシ(宣伝)をさせて頂きます。それは今月清掃道具として導入しました『石鹸化工法によるグリストラップのエコ清掃システム』グリピカロボです。簡単に申し上げますとグリストラップ内の油分を石鹸化し洗浄と排出を同時に行う機械です。従来のバキュームによる汲み取り排出(産業廃棄物)ではなく、グリストラップ内油分を石鹸化することにより産業廃棄物での処分が必要ではなくなります。詳しくお聞きになりたい方、ご興味がある方がおられましたらお気軽にどうぞお問い合わせ下さい。

大阪ビルメンテナンス協会の皆様、若輩者ではございますが未永く株式会社アートイノベーションをご愛顧頂ければ幸いです。

代表取締役 中川 勉

株式会社 ART Innovation

ズームアップ

労務委員会 事業活動

労務委員会では、働くスタッフの労務管理に関して様々な取り組みを行っております。

昨今の人手不足と最低賃金の上昇、労働保険収支の悪化に伴う労働保険料率の上昇の懸念など企業経営を圧迫する課題が山積です。

労務委員会では労働災害の防止と安全意識、労働衛生意識の向上を目的として6月に「労働安全大会」・9月に「労働衛生大会」を開催しております。

事業活動として、日々の労働の中で安全・健康意識を高めて頂くために「安全衛生標語及び川柳」を会員企業様に広く公募し、委員会にて選定をおこない労働安全大会にて優秀作品を表彰しております。

また、『安全パトロールの実施』では（一社）関西ガラス外装クリーニング協会と連携し、大阪労働局と大阪市内各ビルで実施されているコンドラ・ロープ吊りブランコ作業の現場視察を行い、安全対策の強化指導を行っております。

各会員企業様へ『ビルメン体操の普及』や安全意識の向上を図るために『災害撲滅キャンペーンポスター』の作成・配布』なども実施しております。

労働災害収支改善活動の一環として企業の労務担当者及び現場責任者を対象に年1回のKYT（危険予知訓練）リスクアセスメント実務講習会や労務管理セミナー講習会を開催。その他にも1年間無災害・3年間無災害

企業に対し、大阪ビルメンテナンス協会の総会時に無災害企業表彰なども行っております。

今後とも各社の安全啓発活動、安全意識向上にお役立て頂ければと思います。

このような活動の中で毎月提出していただいております「労働者労災通災発生報告書」は、【労働災害発生状況に関するレポート】の基礎データとしてOBM会員企業はもとより他府県で発生した労働災害の発生状況・原因等をまとめ、労働安全の大切さについて注意喚起し、無災害への努力を促すために発行しております。しかしながら、提出企業が年々減ってきております。会員企業の状況把握の為に無災害時についても「災害無し」の報告をいただきますよう、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

ビルメンテナンス業に携わる私たちにとって「安心して働ける健康職場の実現」は、スタッフを労働災害から守ることや人材確保の面からみても必須の目標です。どのようにして転倒、墜落・転落災害などを減少させるかについては、各会員企業における日々の積み重ね・努力が必要です。

労務委員会は、今後も大阪労働局と歩調を合わせ、積極的に事業活動を推進して参ります。

（労務委員会 長井亨樹）

2024年度

第3回 理事会

9月6日（金） 協会研修室

1. 審議事項

- 第2回理事会議事録承認の件
- 新規入会企業承認の件について

・正会員

栄伸開発株式会社

9月1日入会希望

- 委員会・部会委員の承認の件について

・経営委員会 委員の交代

（2024年7月23日付）

・広報委員会 委員追加

（2024年8月1日付）

- 大阪・関西万博（清掃業務・設備業務）進捗状況について

- 2025年度業界要望事項の提出について

2. 報告事項

- 各委員会・部会報告について
- 2024年度全国協会定時総会報告について
- アビリンピック合同練習会開催について

3. その他

- NPO法人大阪府防犯設備協会「展示会とセミナー」のご案内

(2)その他

4. 次回日程

・10月4日（金）

三役会議

13時30分／小会議室

理事会

15時／研修室

委員会・部会

■広報委員会 9月19日（木）出席者10名 協会8階 中会議室

議案① 「OBMマンスリー2024年9月号」の編集、校正について

議案② こみゆにけしゅんず新春号VOL・105の編集、企画について

日本は見本市、 おにぎりは世界へ

理事 梶山孝清

日本へのインバウンドが大変多くなっています。今年の7月迄に2,000万人を超える外国人が来日しています。政府は2025年までに、2019年の訪日客(3,188万人)を超え、2030年までに6,000万人とすることを目標に掲げているところです。総計では、すでに1億人を超える多くの外国人が来日し、日本の文化を体感していることになりました。

10年ぐらい前までは、外国人にとって日本といえば日本製の車や日本食などが有名で、日本の情報といえばインターネットなどからの情報や伝聞しかなく、実際に日本を訪れて街並みや文化・日常の生活をしている日本人と接した人はそんなに多くなかったように思います。円安の影響も多大にあります。最近の旅行者はアジア以外の国々からも来られているように感じます。この状況は、私たちにとってとても良いチャンスだと思っています。日本への旅行者が、実際に日本で品質の良いサービスを受け、日本の生活の良さを実感されています。本当にインバウンドというものは、日本の良い所を知ってもらうには非常にいい機会になっていることを皆さまにもご理解いただきたいと思っています。

日本製品を輸出することは、高度経済成長の時代からメイドインジャパンとして歴史を重ねてきました。しかし、サービスなどのソフト面

については海外の方にはその良さを理解していただくことはなかなか難しかったのだと思います。製品は実際に触ったり使ったりすれば、その良さはすぐには理解できませんが、無形のサービスなど特に清潔さや快適さなどは実際に体感しなければわかりづらいものです。今のようなインバウンドの増加は、日本にとって非常にいい機会なのです。

日本全体が、日本の良品質なサービスの見本市になっており、体感された人がまた日本に来たくなる、そして自国でもそのようなサービスを受けたいと思うようになっていきます。日本のコンビニのような便利な生活サービスや飲食店舗の形態は、海外でも形を変えながら広まりつつあります。

アメリカからハンバーガーが世界に広がったように、日本からおにぎりが世界に広がっていくように。そうであるならば、私たちが提供するサービスを他国の良い所も取り入れながら日本独自のものに発展させて、世界を見据え発展させていけるよう努力していきたいと思えます。



広報委員会からのお知らせ

●OBMマンスリー巻頭原稿

「我が社のいちおし」大募集!

御社のイチオシしたい!
自慢したい!
事をPRしませんか?



- 原稿内容：事業内容・おすすめ商品・社員様等、なんでもOKです! 写真も載せられます!
- 文字数：1000字~1500字 ※ご相談いただけます
- ★掲載料等は、一切不要です。

※掲載のお申込み、お問い合わせは、メール・お電話にて承ります!
メール：osakabma@obm.or.jp
TEL：06-4256-5371

事務局からのお知らせ

《教育センターだより》

(公財)日本建築衛生管理教育センター 講習会予定

- 防除作業監督者(新規)
12月2日(日)~12月6日(木)
於 阪急千里中央ビル
受付 10月10日(金)~10月17日(金)
- 排水管清掃作業監督者(再)
12月9日(日)・12月10日(月)
於 阪急千里中央ビル
受付 10月17日(金)~10月23日(金)
- 空調給排水管理監督者(再)
12月18日(日)
於 阪急千里中央ビル
受付 10月29日(金)~11月5日(木)

※申込期間中、早めにお申し込み下さい。
詳細・用紙のダウンロード・お申し込みは
公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。

ホームページ <https://www.jahmec.or.jp/>
TEL 06-6836-6605

会員だより

●入会

〔正会員〕
・栄伸開発株式会社
代表取締役 細川 秀則 様
〒551-0023 大阪市大正区鶴町1-10-2
TEL 06-6555-6555 FAX 06-6552-5353
(9月1日付)

●住所変更

〔正会員〕
・株式会社ケアマスター
〒590-0924 堺市堺区桜之町東1-2-5
TEL 072-229-3033 FAX 072-229-3319
(9月24日より)

おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナー
への投稿を募集しています

- 題材…自由。
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
- 字数…15字×16~19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。



OBM行事予定

Calendar table listing OBM events from September 25 to October 24, including topics like 'Building Cleaning Management Evaluation' and 'Sports Day'.

KKCお薦め講習会

10月・11月以降に開催予定の講習は下記のとおりです。詳細は、随時会員企業様にお送りしている開講案内、又はKKCホームページにてご確認ください。

- ポリッシャー基本実技講座～ロングコース①～
●ポリッシャー基本実技講座～ロングコース②～
●令和6年度 警備員現任教育
●防除作業従事者研修
●清掃作業従事者研修
●貯水槽清掃作業従事者研修

申込・問合せ先：一般社団法人関西環境開発センター（KKC）教育訓練部
TEL: 06-6836-7651 FAX: 06-6836-7653

へんしゅうざっかん 編集雑感

「かき氷」

気候変動の影響なのか、気温や海水温の上昇、台風の発生や動き、雨の降り方が昔と比べて随分と変わってきたことを肌身で感じるようになってきた。
今年の夏は特に暑く、7月8月だけでなく9月になって暑い日が続き、いつたいつまで夏なのかと言いつつも、毎日水を1000リットルくらい飲んで（個人の感覚です。ビールも含む）熱中症対策に取組んでいる。
先日、ある業界の方から、その業界内では熱中症になる方が多いこと、熱中症対策にかき氷を食べると良い、ということをお聞きした。
ほんまかいなと疑いつつも何となく効果がありそうだとも思い、早速ネットで「熱中症対策 かき氷」で調べてみると、確かに出てきた。
熱中症対策となるかき氷のポイントは、1杯200cc程度の無理なく食べられるサイズ、氷にかけた状態で0.1〜0.2%の塩分が含まれている、味や見た目に清涼感がある、という3点であるようだ。
効果があるならば、かき氷を食べよう社員へ推奨しようかと考えている。
そういう場合は最近、かき氷を食べることがあまりないこと、食べ場所は外食時のついででしかないことに気付く、昔は自宅ですらかき氷を食べていたことを思い出していたのかもしれない。
知らない方もおられるかもしれないのでかき氷機を簡単に説明すると、家の冷凍庫で作った氷をかき氷機に入れてハンドルを手で回すとサラサラの細かな氷が出てくる機械で、刃を調整して氷を薄く削ると頭がキーンとなりにくい。仕上げは色の種類が多いカラフルなシロップを選んでかけるのだが、なぜかどの色も同じ味にしか思えなかった。当時の私はカルピスをかけるのがお気に入りだったのだが、カラフルなシロップより価格が高いため、なかなかかけることはできなかった。
さらに思い出すと、我が家のかき氷機は鉛筆削りを斜めにしたようなデザインで非常に悪い機械であったため、ご近所さんの家にあつたペンギンやクマのデザインで、ハンドルを回すと目が左右に動くかわいらしい機械に憧れていた。親に買って欲しいと何度も頼み「壊れたら買い替える」と言ってくれてはいたものの、不要な装飾品のない実用一点張りのメイドインジャパンの我が家のかき氷機は何年経っても壊れることはなかった。
昔の家はエアコンがない家も多かったことから、暑い日にはかき氷を食べる習慣があり、自然と熱中症対策がなされていたのかもしれない。
昔の人は意外と生活の知恵を使いながら自然と共に生きていたのかもしれない、と考えると、今でも活用できることがあるのかもしれないので、一度振り返ってみようかと思う。
扇風機の前にリボンをつけてその風でヒラヒラさせて清涼感を出したり、たっぷりの水を入れた鉢に金魚をいれて鑑賞したり、今でも出来ることはあるのかもしれない。

(T・M)